

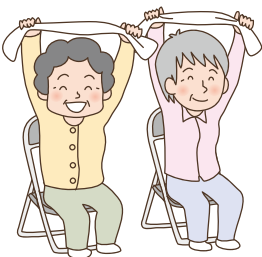
町政をただす

いわね 岩根 たまき 環 議員



問 高齢者を対象とした脳トレについて

答 通年開催の考えはないが、生きがいづくりや社会参加の場の確保も必要なことと認識している



問 岩根議員
町の人口も、令和2年国勢調査の速報値では7346人であったのが、令和7年には6244人、令和12年には5278人と減少が見込まれ、令和17年には高齢化率60パーセント台になると予想している。
町や社会福祉協議会では、生きがい活動、脳の健康教室を実施し、できるだけ認知症にならず健康で過ごせるよう頑張っている。
しかし、脳の健康教室は6月から11月で終了し、その後冬期間は実施されないそうです。
そこで、外出も少なくなる冬期間こそ、脳の健康教室が必要だと考えるが、1年を通して教室を開催できないか伺う。

答 町長
「脳の健康教室」は、脳科学研究の知見をもとに開発されたプログラムで、おおむね6か月間の学習期間で認知症の予防効果が得られるとされていることから、現時点では通年開催の考えはないが、生きがいづくりや社会参加の場の確保も必要なことと認識している。
高齢者の閉じこもり予防、社会参加の促進、社会的孤立の解消を目的とした社会福祉協議会の「生きがい活動推進事業」を各地区において毎週1回、通年で実施しているので、「脳の健康教室」の参加者も含め、高齢者の皆さんには、是非とも御参加いただきたいと思います。
今後事業の評価・検討を行い、より効果的なそして皆さんに喜んでいただけるものを目指してい。



▲脳の健康教室の様子▲

町政をただす

旧長慶平小中学校の校舎について

問 岩根議員

旧長慶平小中学校の校舎は、経年劣化により、屋根は腐食で穴が開き、ガラス窓も割れている状況にある。このままでは、強風等により屋根が飛び、民家等に被害が及ぶ危険があるので、解体すべきと思うが、町長の考えを伺う。

答 町長

旧長慶平小中学校は、平成14年3月の閉校から19年が経過し、経年劣化や冬場の降雪により屋根の腐食や窓ガラスの割れなどが進行している。この解決策としては、直ちに解体することが最善であることは言うまでもないが、建築物の規模や構造からみても相当な経費が必要となることから、町の財政状況と他の事業計画との調整を図りながら経費の捻出に努めたい。

当面は、建物の破損状況や劣化の進行具合を随時確認しながら、周囲に被害を及ぼさないよう安全管理を徹底していく。



経年劣化が著しい旧長慶平小中学校

